

令和6年度第1回白石市環境審議会 議事録

○日時 令和6年10月21日（月）午後2時

○場所 白石市防災センター2階会議室

項 目	内 容
<p>14:00 司会：事務局  会長</p> <p>司会：事務局  事務局</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>環境審議会を開催するにあたりまして、ひと言御礼と準備の感謝を申し上げます。 時間は限られておりますが、審議内容は多くあるため、効率的に進行できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>3. 新委員への委嘱状交付</p> <p>4. 受注業者紹介</p>
<p>進行：議長</p> <p>説明：事務局  議長</p> <p>説明：受注事業者  議長  議長</p>	<p>5. 協議 ○条例第25条より会長が議長となる。</p> <p>(1) 白石市再生可能エネルギー導入目標等策定業務 ① 事業背景について、説明を事務局にお願いする。</p> <p>資料1 地方公共団体実行計画の概要により説明。 事務局からの説明に対し質問等はないか。 (委員からの質疑なし)</p> <p>② 概要説明について、受注事業者の説明をお願いします。</p> <p>資料2 白石市再生可能エネルギー導入目標等策定業務により説明。 受注事業者からの説明及び①事業背景について、事務局からの説明に対し質問等はないか。</p> <p>資料2 P.17 左下、3つのトライアングルで相互作用が書かれており、下にこれらを支える ESG 金融、DX、国際展開等の取組とあるが、私の理解だと、これらを支える金融業界という</p>

	<p>よりは、金融界からの極めて強い要請により事業所や政府が環境問題に取り組まざるを得ないという順番なのではないかという理解がある。環境問題というのは一部の研究者や科学者たちが、環境に配慮した社会が重要といいながら、それでは企業の競争力、特に国際社会における競争力が削がれてしまうので、そのようなところに投資するよりは、利益を追求するための効率性を考える傾向があった。しかし、現在環境に関する取り組みを企業、経済、政府、自治体を上げて行っている状況にあるのは、環境分野の専門家主導というよりは、経済界の要請があると理解している。例えば、ある企業が国内だけでなく海外からの融資も考えたときに、海外の投資機関から、再生可能エネルギーを使用していないと企業に投資しないというような話も聞く。このような事例で教えていただけることがあればご紹介いただきたい。</p>
<p>受注事業者</p>	<p>(回答) 議長からお話があった通り、経済界からは ESG の投資がここ数年際立っている。大手企業のみならず、そこに参加するサプライチェーンを含む企業は、ESG の目標を進めていくという経済界からの強い要請のもと事業に取り組んでいくとしていることは事実である。例えば、商品・資材を調達するときに ESG、環境に配慮した商品であるか、社会的に問題ないものなのかなどが評価される部分でもあり、そのような評価の高いところに投資が集まる傾向がある。現在、国内の金融機関でも ESG の取り組みにより融資の利子を変える、優遇するといった施策を出してきているところがある。</p>
<p>議長</p>	<p>P. 27 下の表、神奈川県鎌倉市でリサイクル率 56.3%とあるが、10 万人を超える人口で、リサイクル率が 6 割近く達成していることは、相当な分別、住民の意識等の総合的な成果だと感じている。また、徳島県上勝町では、30 種類以上の徹底的な分別をし、90%以上のリサイクル率を達成している。ごみを減らすということは非常に有効ではあるが徹底的にやる必要があるので、いろいろな課題を抱えていることも承知している。例えば、P. 26 にバイオガス発電というのがあるが、県内には家庭から出る生ごみを専用のごみ箱で回収しバイオガスを製造しているところもあるが、地区によっては分別状況が悪いところもあり、精査に結構手間がかかってしまう。ごみの分別、リサイクル、メタンガスの発酵などの取組を行っている自治体が宮城県内でもあるので、どのような課題があるのかを学ぶことも有益だと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>将来に向けた目標は、どの程度実現可能なのか。CO2 削減量 100%が目指せるのか。白石市の実態・実情・今後を合わせたとき、実現 100%に向けた目標設定にして欲しい。また、産業</p>

事務局	<p>部門や戸建住宅などのCO2削減が大きな課題になると思う。その時に、公的な補助金や助成金をどの程度活用できるかわからないため、情報があればお聞かせいただきたい。</p> <p>(回答)削減目標について、2030年度までに50%、2050年度までに100%と実現できるような形で目標を設定していきたい。市の助成については皆様からヒアリングやアンケート等を行い目標実現に向け施策等をこれから検討させていただく。助成について、現状、市では太陽光パネルの設置や蓄電池に関する助成は行っていない。現時点ではまだ何とも申し上げることができないが、審議会の中でも研究・分析を踏まえ皆様からのご提言をいただけたらと思う。</p>
委員	<p>目標等を掲げた以上は目標達成に向けた形で進んでいただく方がいいが、実態にそぐわない目標の場合にはなかなか達成が難しいということもあるので、その辺しっかりご承知おきいただきたいと思う。</p>
委員	<p>質問というよりお願いだが、1点目、かなり幅広く深い分野なので力を入れて進めないといけないと思う。市役所全体として取り組んでいく体制がないのであれば、体制を作っていただきたい。2点目、新しいことを進める上では市民のご理解が必要であるため、市民へ取組の周知や学校などに協力してもらい、子供の頃から取組を教えることで取組に対する雰囲気づくりをしていただきたい。3点目、他の自治体の先進事例もあると思うので、成功事例、成功しなかった事例を積極的に調べ、目標達成できるように取り組んでいただきたい。4点目、再エネ導入の中で、バイオガスの部分については、原材料の質、安定供給、施設の維持等課題が多く、ハードルが高い部分もある。実際にこれらの取組を進めるときは事業者をお願いするのかもしれないが、うまくいかなかったとにならないよう十分慎重に進めていただきたい。資金が必要となると思うので、みやぎ環境交付金などの助成金を活用し取組を進めていただければと思う。</p>
事務局	<p>(回答)白石市では、地球温暖化対策実行計画区域施策編を来年度までに策定する。そのため市民の皆様や産業界の皆様と共に取り組んでいくことになると思うので、ご意見をお聞かせいただいで検討しなくてはならない。バイオマス発電については、白石市では約20年前に生ごみ資源化事業所を設置し、試験的に取組をしたが既に施設は廃止している。その教訓を踏まえ、市民の皆様や産業界の皆様と実効性のある計画と一緒に考えていきたいのでご協力お願いする。また、市としても助成金・補助金等を最大限活用していきたいため、事</p>

	<p>例などを知っている方がおりましたら情報提供をよろしくお願ひする。</p>
議長	<p>先ほど 20 年ほど前の取組がうまくいかなかったというお話があったが、どのような点がうまくいかなかったのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>(回答) 生ごみの回収、分別のところで必要量の確保ができなかったと把握している。次回までに整理して皆様にご報告できればと思う。</p>
議長	<p>20 年前の白石市は現状よりも人口が多かったと思う。そのため生ごみの発生量も今よりも多かったと思うが、それでもうまく取り組めなかったという事例は大変貴重なものである。</p>
議長	<p>宮城県は森林がたくさんある県であり、資料でも木質バイオマスの活用が取り上げられている中で、森林に詳しい次世代を教育する場所が細まっているという状況を聞くと、色々と難しいと思う。そのため、森林組合ではどのような取組をしているか。また、どのような課題があるのか。何か情報をいただければありがたい。</p>
委員	<p>(回答) 木質バイオマスに使用するのは、主に C, D 材。当初は一般的には放置した材料などをバイオマスに持っていったが、今は枝葉から切り株から全部掘り起こして持っていく。生産者としてはあまり儲からない。また後継者の問題が一番である。自分が所有している山がどこにあるのかわからない人が多くいる。組合としては、伐採や森林整備をすと言っても、境を明確にしなくてはどうしてもできない。そこでスマート事業化し、GIS 利用やドローンを飛ばし収穫量や材積の分析に取り組んでいる。なおかつ森林の所有者や後継者がいないので荒れている森林を、環境税を使いながら整備に取り組んでいる。これから木質バイオマスを行うのであれば、近くに施設があればなおよいのではないか。</p>
事務局	<p>(回答) CO2 削減 100% の目標のほかに、理想ではあるかもしれないが白石市の地域課題も消化できればと思う。人口減少や少子高齢化による担い手不足が進んでいるので、地域課題の解決にもつながるというのも究極の目標だと思う。そのため、環境課だけではなく、農林部署であったり商工観光部署であったりと全庁的に課題に取り組んでいかななくてはいけないと思う。どこまでできるかはわからないが、少しでもご指摘いただいた林業の課題や地域課題の解決につながるような施策にしたい。</p>

議長	<p>委員のご指摘は重要だったと思う。膨大な分野なので慎重かつ丁寧に取り組まなくてはいけない。そのため課題解決のために、各部署で情報共有をして議論を深めていけたらと思う。また、県内で民有林の間伐材を使ってバイオマス発電を行っているところでは、間伐所有者が高齢化して手入れができないところに、間伐部隊を育てて送り込んでいる。その発電所は立地条件も良く、裏にあるホテルで廃熱利用するなど効率のいい発電システムを作っている。そこのリーダーはいろんなことを手掛けていて、宮城県の推薦で環境に向き合う優れた団体として表彰を受けたことがあるが、そういうリーダーが抱えている課題や取り組んだ中で苦労されたことから学ぶことも意義があるのではないかと思う。</p>
委員	<p>ゼロカーボンの取り組みは未来への責任として取り組まなくてはならない課題であると認識している。企業の方は、発電事業等々は儲かると思うから取り組むと思う。そこで国が補助金をしっかり出せばみんなやると思う。また、事業として太陽光発電を行う場合、収益からある程度供託金的なものを内部留保し、事業が頓挫した時などに、パネルなどの撤去費用を捻出することになっていると思うが、企業内部で持っている、本当にそれが担保されているのか疑問である。例えば、市が供託金的なものを管理できるのであれば、何かできると思う。自治体や地域が主体的に色々なことができるようにならないと思う。そして、国が絶対にゼロカーボンを目指すというのであれば、もっとお金を出した方がいいと思う。家を建てる際に、太陽光発電つけたら補助金を出すとになったら、皆取り組むと思う。そうでなければお金がかかるからやらないとなるので、その辺の考え方だと思う。本気で取り組むのであれば、私もやっていくし、未来の子どもたちに対しての責任として、大人はこう考えてやっていますよと言えると思っている。</p>
議長	<p>市で予算を使える基金のようなものがあって、例えば、未来を担う子どもたちの課題に対応するとか、少し頑張ってみようと思う市民団体の後押しをするとか、地域での資金をうまくまわしていくポンプがあると、課題解決のための具体的なものが見えてくると思う。</p>
進行：議長	<p>それでは、本日はここまでとさせていただきます。進行の方を事務局へ戻します。</p>

司会：事務局	6. その他
事務局	<p>次回の会議日程は12月中を予定している。まだ詳しい日程は決まっていないため、決まり次第皆様にお知らせする。</p>
副会長	<p>7. 閉会</p> <p>本日はご意見いただきありがとうございます。資料のように策定しても実効性あるいは実現性を高めるためには官と民がどのようにしていくか、目標を達成しやすい環境づくりをしなくてはならないと思います。そのため委員の皆様、事業所の皆様、市の皆様、すべてのご協力をいただかなくては、目標達成は難しいと思いますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。</p>
司会：事務局	以上で「令和6年度第1回白石市環境審議会」を閉会する。